

都道府県番号	18
都道府県名	福井県

## 【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

### I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
福井県学力向上推進地域	217校 (8校)	80校 (4校)	297校 (12校)

### II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①福井・高志地区協議会 (福井市、松岡町、永平寺町、 美山町、上志比村)	54校 (2校)	24校 (1校)	78校 (3校)
②坂井・奥越地区協議会 (三国町、芦原町、金津町、丸 岡町、春江町、坂井町、大 野市、勝山市、和泉村)	52校 (2校)	15校 (1校)	67校 (3校)
③鯖丹・南越地区協議会 (鯖江市、武生市、朝日町、 宮崎村、越前町、越廼村、織 田町、清水町、今立町、池田 町、南条町、今庄町、河野村)	50校 (2校)	22校 (1校)	72校 (3校)
④二州・若狭地区協議会 (敦賀市、小浜市、三方町、美 浜町、上中町、名田庄村、高 浜町、大飯町)	61校 (2校)	19校 (1校)	80校 (3校)
合 計	217校 (8校)	80校 (4校)	297校 (12校)

### III. 都道府県教育委員会としての支援策

#### ○地区別協議会に対して

- ・ 連絡協議会を開催し、市町村教育委員会の担当指導主事およびフロンティアスクールの教員に対して、実践研究の進め方や研究のポイント等について助言した。
- ・ 全フロンティアスクールの実践研究をまとめた報告書を作成し、成果の普及を図った。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・ 授業研究会や地区協議会等に指導主事を派遣し、指導、助言を行った。
- ・ 学力向上研究協議会を全学校を対象に開催し、県内全域への成果の普及を図った。
- ・ 全フロンティアスクール校の研究概要を県のホームページに掲載し、公開授業日の紹介や研究内容に関する情報の共有化を図った。

IV. 学力把握のための都道府県としての取組について

昨年12月に全県的に学力調査を実施した。（小学校第3学年～第6学年、中学校全学年対象）この調査結果から、客観的にフロンティアスクールでの学習の達成状況を把握した上で、フロンティアスクールに対して適切なアドバイスを行う。

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- （第1回）6月（教員、指導主事）
- （第2回）2月（教員、指導主事、保護者代表）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

（第1回）「テーマ：学力向上への取組みの推進」

主な協議内容

- ・ 学力向上についての取組みの具体的な方策等
- ・ 大学教授による講演

（第2回）「テーマ：保護者等の理解を得ながら推進する取組み」

主な協議内容

- ・ 学力向上についての取組みの具体的な方策等（実践発表〔6校〕）
- ・ 保護者等から学校の取組みについて理解や協力を得る効果的な方法

（成果）

- ・ 小学校における教科担任制を進める上での留意事項
- ・ ティームティーチングや習熟度別指導を効率よく機能させるための方策
- ・ 少人数指導の形態ごとの指導方法の違い

（課題）

- ・ 少人数指導を進める上での教員の担当時間数の増加
- ・ ティームティーチングなどでの打合せ時間の確保
- ・ 学校に取組みに対する外部評価のあり方

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

（実施方法・内容）

- ① 新学習指導要領に基づく学力調査を実施し、客観的かつ継続的に各フロンティアスクールの実績から変容を評価する。
- ② 教員、児童生徒、保護者、地域による各フロンティアスクールの学校評価を継続的に行う。
- ③ ①②をもとに研究協議会等でフロンティアスクールの特色ある取組の効果を評価する

(進捗状況)

- ① 学力調査を昨年12月に実施した。近く、報告書を配布する。この報告書によって、調査結果を踏まえた今後の各教科の指導の重点事項等を示す予定である。
- ② 全フロンティアスクールのこの1年間の実践報告書を作成し、全小・中学校に配布した。このことにより、フロンティアスクールが様々な評価を受けることができるようにするとともに、本事業の成果の県内全域への普及を図っている。
- ③ 基礎学力向上研究協議会を2回開催した。市町村の指導主事や教科指導員に加えて、フロンティアスクールの各教科担当者が参加し、実践事例を基にして、取り組みの効果等について研究協議を行い、併せて評価を行っている。

【地区別協議会における特色ある取組】

- ・ フロンティアスクールの研究推進担当者と文部科学省教科調査官との意見交換を通じた研究に関する課題の整理（鯖丹・南越地区協議会）
- ・ 保護者を交えた研究協議（福井・高志地区協議会）
- ・ 県外の実践校の教員による講演と研究協議（坂井・奥越地区協議会および二州・若狭地区協議会）

以上のことを、すべての地区協議会が域内の全小・中学校の教員を対象に実施した。

【特色あるフロンティアスクールの取組事例】

別紙参照（①②③の項目ごとに添付）

- ① 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発
- ② 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
- ③ 児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善